

不登校等児童生徒への 支援の充実に向けて



広島県教育委員会事務局学びの変革推進部

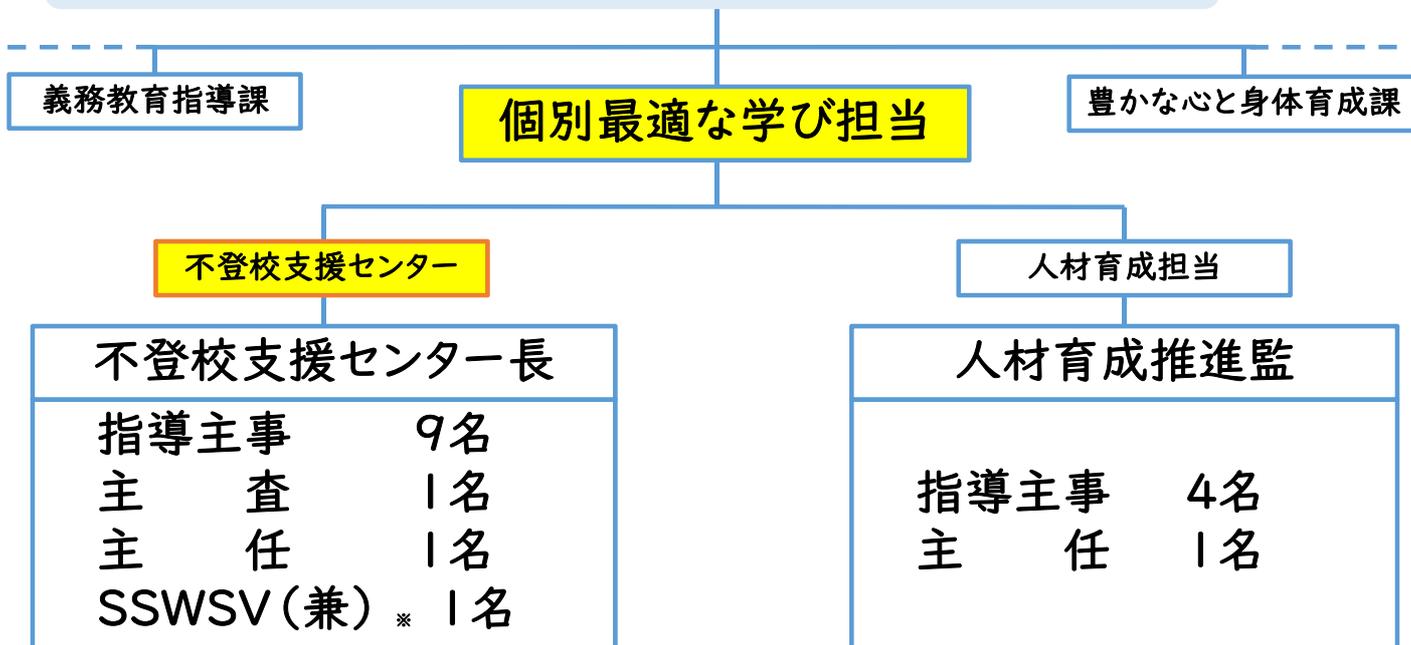
個別最適な学び担当 不登校支援センター 蓮浦 顕達



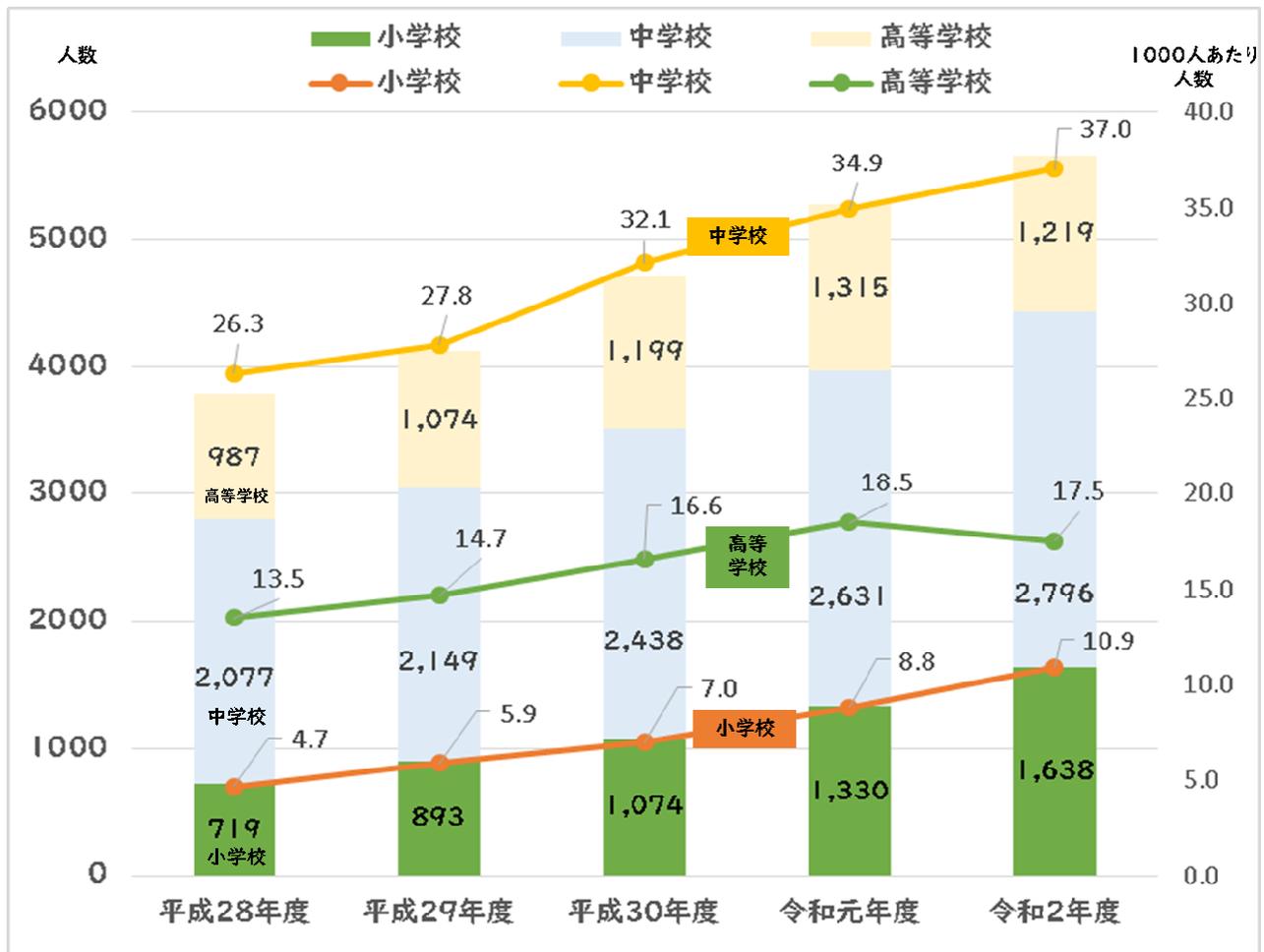
不登校支援センターについて

令和3年4月設置

広島県教育委員会事務局 学びの変革推進部



※スクールソーシャルワーカースーパーバイザー(SSWSV)は豊かな心と体育成課との兼務



「令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」から



不登校支援センターについて

広島版『学びの変革』アクションプランの推進（平成26年12月～）

全ての児童生徒の「主体的な学び」の実現

主体的に学ぶことが難しい児童生徒



自己肯定感が低い 学ぶ楽しさ・できる喜びを感じた経験が少ない

個別最適な学びの推進



令和元年度～

個別最適な学び担当 を新設

一斉指導を前提としたカリキュラムだけではなく、
子供の実態に応じた多様な“選択肢”と“自己決定”を意識した教育活動の推進



不登校支援センターについて

県内の公立学校の不登校等児童生徒への学習支援等による不登校の未然防止及び不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援の強化・充実を図る。

主な取組

- I 不登校SSR推進校への支援
- II 東大LEARN in 広島（開発・実施）
- III フリースクール等民間団体との連携体制の構築
- IV 教職員・保護者を対象とした研修（年間3回）
- V 不登校に係る教育相談（心のふれあい相談室など）



県教育委員会HP <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku17/>



不登校SSR推進校への支援

令和元年度・令和2年度

学校とのつながりが途切れないための居場所づくり

不登校等児童生徒支援指定校（小学校5校 中学校6校 計11校）

※ 指定は忠海小であるが、忠海小・中は施設一体型小中一貫校であるため、SSRは共用。

市町名	小学校	中学校
福山市	新涯小・曙小	誠之中
呉市		阿賀中・吉浦中
竹原市	東野小・忠海小	（忠海中）※
東広島市		八本松中・高屋中
海田町	海田小	海田西中

■担当教員を加配措置（各校1名）

■環境整備に向けた予算措置（1校当たり40万円） ※初年度のみ



不登校等児童生徒が継続的に利用できる居場所を整備することにより、学校をはじめとする社会とのつながりを持つことができ、社会的自立に向けた支援を充実させていくことができる。



不登校SSR推進校への支援

★利用した児童生徒、その保護者及び担当教員の声



児童生徒

- 少人数で安心できる場所があると学校に来ることができる。
- 静かに自分のペースで学習ができる。教室はざわざわしている。
- SSRがあったので、(教室でしんどくなった時も)家に帰らずにSSRに行くという選択肢が増えたことが良かった。
- 体がしんどい時、みんなと同じペースで勉強が、進められない時にSSRを使って自分のペースで勉強し、また教室に戻れるのが良かった。
- 授業の途中で教室から出たり、教室に入ったりするのは特に気にならないようになった。
- SSRでは、周りの人に助けてくれる友達ができて笑顔になれる。友達が困ったときに助けてくれる。
- 人の気持ちを考えることができるようになった。

- 登校しやすい雰囲気で(子供が)行きやすかった。
- 切り替えができる場所があって良かった。安心して通うことができた。
- SSR通信でSSRのことや子供のことがよくわかった。
- 自分がしんどい時に自分で気づけて、先生にも伝えることができるようになったことが良かった。
- 進路が決まって良かった。不登校になって難しいと思っていた。
- 保護者の会などで相談できてよかった。



担当教員

- 教職員も全ての児童が使うことができる部屋としてSSRをとらえている。週1回の支援会議(全教職員での不登校等児童に係る会議)の成果であると考えている。



保護者

★指定校における不登校児童生徒数(令和2年度)

広島県全体の不登校児童生徒数が増加する中で、指定校11校中9校で、前年度以下という結果



不登校SSR推進校への支援

令和3年度～

不登校SSR推進校(小学校6校 中学校14校 義務教育学校1校)

市町名	小学校	中学校	義務教育学校
福山市	新涯小・曙小	誠之中	
呉市		阿賀中・吉浦中	
竹原市	竹原西小		忠海学園
大竹市		大竹中	
東広島市		八本松中・高屋中	
廿日市市		四季が丘中	
江田島市		大柿中	
海田町	海田小 海田西小	海田西中	
熊野町		熊野中	
三原市	沼田東小	宮浦中・久井中	
府中市		第一中	
三次市		塩町中	

利用状況

令和3年5月末現在 125名
令和3年9月末現在 183名

- 担当教員を加配措置(各校1名)
- 県教委指導主事が週1回(終日)学校訪問



不登校SSR推進校への支援

SSR(スペシャルサポートルーム)は、どんな場所なのか。

◎通常の教室への復帰を前提とはしていない。

◎居場所であるとともに成長できる場である。

◎「生きる力」を育むことを目指す。

・ **相談する力**

・ **自分の強みを知り、生かす力・苦手な場面でSOSを出せる力**



◎時間割を変更したい場合、相談できる。

◎利用する児童生徒の伴走者として担当者が決まっている。



不登校SSR推進校への支援

不登校SSR推進校の取組内容

(1) SSRの運営

- ① 環境整備
- ② 個別のサポート計画の作成
(アセスメントなど)
- ③ 学習支援(個別・集団) など



(2) 組織的な学校体制の構築

- ① 不登校等児童生徒支援会議の開催による支援方針等の共有
- ② 校内研修の実施
- ③ 他の教職員, 児童生徒, 保護者への周知 など

サポート

市町教育委員会

- 県教育委員会と連携による推進校への指導・支援
- 市町教育委員会主催の生徒指導主事研修等で成果等を普及
- 市町の教育支援センター等との連携 など

県教育委員会

- SSR担当教員(教育相談コーディネータを兼務)を各校1名加配
- 不登校支援センターの指導主事が各推進校に週1回(終日)訪問
※ 訪問できない期間は、オンライン担当者等ミーティングを開催
- 不登校SSR推進校連絡協議会(年2回)を開催
- 県全体へ成果等を普及 など



(1) SSRの運営



① 環境整備

👉 ポイント1

学校らしく見えない教室を目指しましょう!

👉 ポイント2

校内で入室しやすい場所を選定し、動線を確保しましょう!

👉 ポイント3

個別の学習, 協働での学習の両立が可能なレイアウトを工夫しましょう!



ソファを置いたり, 机にテーブルクロスをかけたり, カラフルな色を使ったイスを使うなど, 学校らしく見えない教室を目指しています。



個別の学習と協働での学習の両立が可能なレイアウトを工夫しています。



周りの視線を気にすることなく入室できる場所へSSRを設置したり, SSR用のくつ箱を準備したりしています。



不登校SSR推進校への支援

(1) SSRの運営

② 個別のサポート計画の作成 (アセスメントなど)



👉 ポイント1

適切なアセスメントを実施しましょう!

👉 ポイント2

アセスメントを踏まえて、身に付けさせたい目標を設定しましょう! (長期目標・短期目標)

👉 ポイント3

児童生徒・保護者との面談等によって**共通理解**を図りましょう!



不登校SSR推進校への支援

(1) SSRの運営サポート

② 個別のサポート計画の作成 (アセスメントなど)



👉 ポイント1

適切なアセスメントを実施しましょう!

児童生徒一人一人の状況だけではなく、

その状況に至っている要因を探っていきましょう。

手法の一つとして

FDP (Five Different Positions) 判定指標の活用

NPO法人スチューデント・サポート・フェイス (S.S.F)

実施(例) ※ 利用開始時と年度末の2回実施(場合によっては、年度途中でも実施)

- ① 各判定指標について、複数(学級担任とSSR担任)で、児童生徒の実際の姿をもとに5つのレベルで見とる。
- ② それぞれが、どう判定したのか、どんな姿をもとに判定したのかを**交流する**。
- ③ 今、とらえている状況だけでは判断できない場合、再度、一定期間、児童生徒の様子を見る。
- ④ 再度、交流することを通して判断する。

判定すること
自体が目的
にならないよ
うに留意

FDP (Five Different Positions) 判定指標の活用

【対人関係】

- Level 1 対人恐怖等を抱え、他者への警戒心、拒絶感が強く接触が全くできない状態にある。
- Level 2 他者への警戒心、拒絶感が強い状態であるが、特定の間であれば接触が可能である。
- Level 3 個別での対人接触は可能であるが、強い苦手意識があり、コミュニケーションが不全である。
- Level 4 小集団での対人関係が可能で、一定の枠組みの下でのコミュニケーションは可能である。
- Level 5 集団での対人接触が可能で、日常的なコミュニケーションをとることができる。



【メンタルヘルス】

- Level 1 精神的に不安定であり、重度の幻覚・妄想や自殺企図があり、自傷他害のリスクが高い。
- Level 2 精神的に不安定であり、投薬等によって症状が抑えられているが自傷他害のリスクがある。
- Level 3 精神的に不安定であるものの、ある程度の自制が可能で条件次第で限定的に社会参加ができる。
- Level 4 精神的に不安定であるものの、助言等で自制が可能な状態で一般的な社会参加が可能である。
- Level 5 精神的に安定しており、社会生活を営む上での支障がない。

【ストレス耐性】

- Level 1 些細なストレスでも心身に影響が生じるため、社会生活が送れない。
- Level 2 しばしば心身への影響が認められ、社会生活を営む上での困難がある。
- Level 3 一定のストレスが溜まることで時折、社会生活に支障が出ている。
- Level 4 助言等があれば自制が可能で、一般的な社会生活が送れる。
- Level 5 自制が可能で社会生活を営む上で支障がない。

【思考(認知)】

- Level 1 全てにおいて悲観的・否定的な考え方で、客観的な意見を受け入れられず自制もできない。
- Level 2 悲観的・否定的な思考で、自制はできないが時として客観的な意見を受容することができる。
- Level 3 悲観的・否定的思考傾向にあるが、助言等を受け入れ、ある程度の自制が可能な状態にある。
- Level 4 一般的な思考傾向にあり、助言等によって物事を合理的に考え、自制が可能な状態にある。
- Level 5 一般的な思考傾向にあり、自ら物事を柔軟に捉えたり、合理的に考えることができる。



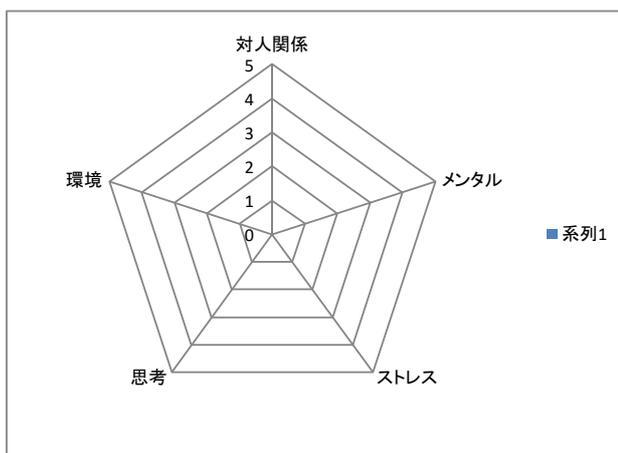
【環境】

- Level 1 虐待やDV、不法行為等の深刻な問題が存在し、行政による緊急介入が必要な状態にある。
- Level 2 家庭内暴力や家族間の対立等の問題が存在し、家族機能が著しく低下した状態にある。
- Level 3 家族間の不和等の家族問題が存在し、家族機能が低下した状態にある。
- Level 4 家族問題が存在するものの、家族機能がある程度保たれている。
- Level 5 一般的な家庭環境で、家族機能が健全に保たれた状態にある。

NPO法人スチューデント・サポート・フェイス(S.S.F)
「多軸評価アセスメント指標」による

アセスメントシート(例)

	レベル	評価の根拠となった聞き取り・行動の記録
対人関係		
メンタル		
ストレス		
思考		
環境		



作成日	対象児童名
在籍級	担任名
FDP指標以外の共通理解しておきたい事項	
●本人の強み(趣味・特技など)	
●学習状況 <input type="checkbox"/> 学年相当 <input type="checkbox"/> 学年の進みと違う教科がある <具体的に記述>	
●その他	
作成担当者名(複数名)	

※FDP(Five Different Positions)アセスメント【NPO法人のスチューデントサポートフェイス】を参考に作成

個別サポート計画の作成



学年 組	氏名	性別	学級担任名 (作成者)
児童生徒 の状況	状況		
	合理的配慮		
	関係機関 (医師等)		
	その他		
本人の意向	保護者の意向		
長期目標			
指導の実際			
期間	目標 (行動内容) 【いつ、だれが、どこで等】	評価	

★相談する力

★自分の強みを知り、
生かす力・苦手な場面でSOSを出せる力



長期目標



短期目標

個別サポート計画の作成



学年 組	氏名	性別	学級担任名 (作成者)
児童生徒 の状況	状況		
	合理的配慮		
	関係機関 (医師等)		
	その他		
本人の意向	保護者の意向		
長期目標			
指導の実際			
期間	目標 (行動内容) 【いつ、だれが、どこで等】	評価	

★相談する力

★自分の強みを知り、
生かす力・苦手な場面でSOSを出せる力



長期目標



短期目標

児童生徒・保護者との面談等による
共通理解



不登校SSR推進校への支援

(1) SSRの運営サポート

③ 学習支援(個別・集団)



👉 ポイント1

児童生徒の興味・関心を生かした学び

👉 ポイント2

児童生徒が相互に学び合う場の設定

👉 ポイント3

振り返りと教職員からの声掛け



不登校SSR推進校への支援

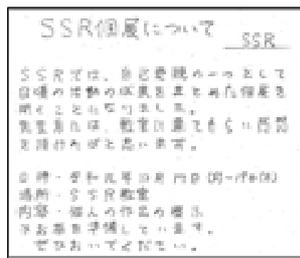
(1) SSRの運営サポート

③ 学習支援(個別・集団)



👉 ポイント1

児童生徒の興味・関心を生かした学び



自分たちが興味・関心のあることについて、それぞれが調べ、自分なりの工夫をしてみました。また、SSR個展として、先生方を招待し、調べたことの発表会を開催しました。先生方からは、たくさんの「いいね」の評価をもらいました。



(1) SSRの運営サポート



③ 学習支援(個別・集団)

👉 ポイント2

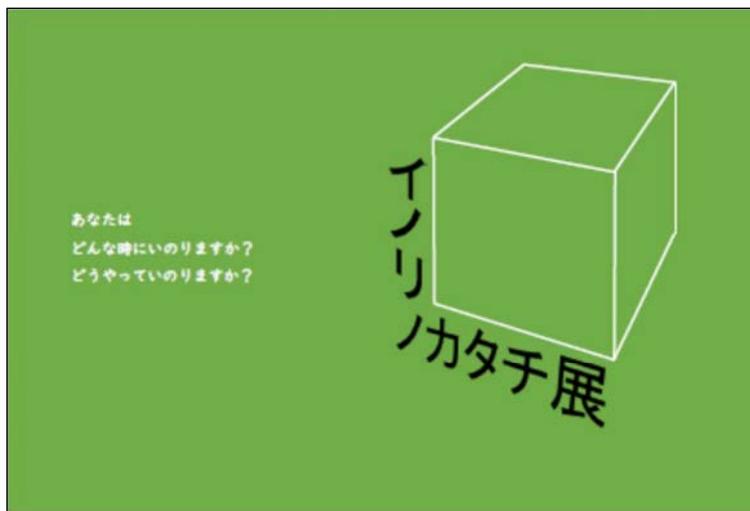
児童生徒が相互に学び合う場の設定



児童生徒が相互に教え合う活動や関わり合い・協力が必要となる体験活動などを取り入れ、相互に認め合うことができるよりよい人間関係を築いています。また、様々な体験により、自分が何に興味・関心があるのかに気づき、学びを広げていくきっかけとしています。

「令和3年度広島県教育資料」から抜粋

月	オンライン学びプログラム	オンラインクラブ活動
7月	<p>「MADE IN ○○」 身の回りにある世界の国々でできたものを探します。 どんな国があるかな? 初級・中級あります。</p> <p>初級: 7月8日(木) 10:45~11:30, 7月15日(木) 13:30~14:15 ※内容は同じ 中級: 7月8日(木) 13:30~14:15, 7月15日(木) 10:45~11:30 ※内容は同じ</p> <p>「3ヒントクイズ」 三つのヒントから謎を解き明かすクイズ。 初級はフクロウ先生, 中級は怪盗 X から出題するよ。 一つ目のヒントから分かる人はスゴイ!</p> <p>初級: 7月9日(金) 10:45~11:30, 7月16日(金) 13:30~14:15 ※内容は同じ 中級: 7月9日(金) 13:30~14:15, 7月16日(金) 10:45~11:30 ※内容は同じ</p>	<p>7月13日(火) クラブ活動がはじまります</p> <p>生き物クラブ: 10:45~11:30 生き物好き集まれ!</p> <p>イラストクラブ: 13:30~14:15 イラスト好き集まれ!</p>
9月	<p>SSR 学びプログラム コラボ企画! 第1弾! With 歴史民俗資料館 「イノリノカタチ」 君はどんなときにいりますか? どうやっていりますか? つくってみよう! 「自分だけの祈りの形」</p> <p>第1回: 9月10日(金) 10:45~11:30, 13:30~14:15 ※午前と午後の内容は同じ 第2回: 9月16日(木) 10:45~11:30, 13:30~14:15 ※午前と午後の内容は同じ 第3回: 9月24日(金) 10:45~11:30, 13:30~14:15 ※午前と午後の内容は同じ ※参加者: 希望者(詳しくは、イノリノカタチのプリントを見てね)</p> <p>「建造せよ!」 建造とは、大きいものを作ることを意味します。 用意するものは、新聞紙1日分。 君は、新聞紙で建造物を作ることができるか!!</p> <p>9月8日(水) 10:45~11:30, 9月15日(水) 13:30~14:15 ※2日とも内容は同じ</p>	<p>9月8日(水) イラストクラブ: 13:30~14:15 イラストを交流したり、おしゃべりしたりしましょう!! みんなのイラストを見るだけでもOKです</p> <p>9月29日(水) テーマ:メダカ 生き物クラブ: 10:45~11:30 生き物好き集まれ!</p> <p>NEW 企画部: 13:30~14:15 自分たちで新しいクラブ活動を企画してみませんか? 第1回目は、意見を出し合しましょう!</p>



あなたは
どんな時にのりですか？
どうやってのりですか？

イノリノカタチ展

様々な場所や方法で学ぶ子供たち、それぞれの「イノリノカタチ」
令和3年11月12日(金)～11月28日(日)

学校の教室だけでなく、様々な場所や方法で学ぶ子供たちを対象に、社会とつながるためのスキルを磨き、人や社会とつながる良さを感じることを目的とした活動「オンライン学びプログラム」。この度、広島県立歴史民俗資料館と連携し、「イノリノカタチ～いのりの「おかし」と「いま」～」を実施しました。館長の解説を聞きながら、滑石を紙やすりで削り、自分なりの「イノリノカタチ」を仕上げました。

自分にあった場所や方法で学ぶ子供たちの自由で豊かな発想を感じていただければ幸いです。

場所：みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）
休憩ホール
(729-6216 三次市小田幸町122)

広島県立歴史民俗資料館
「イノリノカタチ展」観覧無料

ただし、入館には以下の入館料が必要です。
入館料：一般200円、大学生150円、高校生以下無料
※枚の特別企画展は別料金です。
※観覧時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）



主催：広島県教育委員会
お問合せ先：082-513-5028 個別最適な学び担当不登校支援センター 担当（前田・遠藤）



月 オンライン学びプログラム

オンラインクラブ活動

10月

「レッツ エクササイズ ～心も体もリフレッシュ～」
コロナ禍で運動不足になっていた、
ストレスがたまっていたりしている、その君！
体を動かさず気持ちよさを体感し、心も体もリフレッシュ！
※用意するものは、ボール2つ（テニスボールくらいの大きさ・新聞紙でもOK）
10月8日(金) 10:45～11:30, 13:30～14:15 ※2回とも内容は同じ

「分析せよ ～SSR研究所～」
分析とは、物質を調べ、その成分を明らかにすることを
意味します。SSR や身の回りにあるモノを科学的に
分けてみましょう！ 研究員大募集！
※用意するものは、水槽（水が入ったもの）、空のペットボトル1本
10月18日(月) 13:30～14:15, 10月19日(火) 10:45～11:30 ※2回とも内容は同じ

「『◎』って何？」
『◎』って知ってる？ 何て読むのかな？
どんなところに使われているのかな？
SSRにある身の周りの『◎』を探し、『◎』について知ろう！
10月29日(金) 10:45～11:30, 13:30～14:15 ※2回とも内容は同じ

10月12日(火) 講師 テーマ:蛇
生き物クラブ：10:45～11:30
生き物好き集まれ！
昆虫、魚類、は虫類、両生類、鳥類、ほ乳類
植物など、好きなものを語ろう！

企画部：13:30～14:15
自分たちで新しいクラブ活動を企画してみませんか？
意見を出し合い、やってみよう！

10月14日(木) 講師
イラストクラブ：14:30～15:30
今回は、代々木アニメーション学院広島校イラスト科
講師の乾本ちひろさんが登場します
イラストを描いたり、見せ合ったりして楽しもう！！
みんなのイラストを見るだけでもOKです

11月

【オンライン学びプログラム】
「漢字でイイ感じ♪ ～漢字の世界へ第一歩～」/
漢字のクイズにチャレンジ！
みんなて、漢字の世界へ飛び込もう！
新しい自分だけの漢字を作ってみよう！
※用意するものは、A4の紙10枚くらい、マジック1本
11月15日(月) 13:30～14:15

SSR学びプログラム コラボ企画！第2弾！ With 福山少年自然の家
「つながろう・つくろう」
オンラインでのつながる楽しさを感じたり、
簡単なクラフトをつくらせて楽しもう！
11月25日(木) 13:30～14:30 ※用意するものは、牛乳パックとストローです。

コラボ企画
②

11月11日(木) 講師 テーマ:トカゲ
生き物クラブ：10:45～11:30
生き物好き集まれ！ 今度も講師の先生をお招きします！
生き物について語り楽しみましょう！ 今度のテーマはトカゲ！

11月19日(金)
企画部：13:30～14:00
自分たちで新しいクラブ活動を企画してみませんか？
意見を出し合い、やってみよう！

写真部：14:10～14:40 講師
企画部で生まれた部活動です！
写真好きあつまれ！！自分とった写真を紹介しよう
今月のテーマは特にありません。紹介枚数の制限なし！

月 オンライン学びプログラム

オンラインクラブ活動

12月

コラボ企画 ③

オンライン
SSR学びプログラムコラボ企画! 第3弾! With Calbee

元気が出るおやつのヒ・ミツ

おやつにかくされたヒミツを発見・探検してみよう!

第1回 12月9日(木) カルビー・広島工場に見学に行こう! (オンライン) 午前 10:45~11:30 午後 13:30~14:15

第2回 12月13日(月) オンラインナックススクール~おやつのおいしい食べかた~ 午前 10:45~11:30 午後 13:30~14:15

※Zoomミーティングによるオンラインで行います。参加者:希望者(詳しくは、プリントを見てね)

12月3日(金)

企画部: 13:30~14:00

写真部: 14:10~14:40

12月7日(火)

イラストクラブ: 13:30~14:15

SSRの生徒が担当 講師

「カラフルドットアート」をつくるよ
今回は、クラスルームでの紹介でおなじみ、カラフルドットアートをみんなで作ってみよう! もちろん、聞くだけ参加でもOK!
準備物は、色ペン(水性ボールペン2、3色程度) 画用紙(白でも黒でもOK)
※下がきを準備して参加します。詳しくは、クラスルームでお知らせします。

1月

コラボ企画 ④

「レッツ エクササイズ パートII ~心も体もリフレッシュ~」

体を動かす気持ちよさを体感し、しゅーぞー先生と心も体もリフレッシュ!
※用意するものは、ボール2つ(テニスボールくらい大きさ・新聞紙でもOK)
なわとび または ロープ(飛ばないで室内参加でOK!)

1月14日(金) 10:45~11:30, 13:30~14:15 ※2回とも内容は同じ

SSR学びプログラム コラボ企画! 第4弾! With COCODEMO 江田島ラボ

「ゲームを作ろう! チャレンジ・プログラミング」

簡単なゲームを作りながら、プログラミングに触れてみよう!
※詳しくは、チラシを見てね

1月19日(水) 10:45~11:30 13:30~14:15 ※午前・午後とも同じ内容です

1月28日(金)

生き物クラブ: 10:45~11:30 講師

今回は、広島市森林公園こんちゅう館の先生がゲストです!
昆虫について、語り合いましょう!

企画部: 13:30~14:15

新しいクラブ活動を企画中!
意見を出し合い、進めよう!

生き物 「両生類×爬虫類」おは生き物博士(なれるか)両生類と爬虫類の2人の生き物博士が登場します。みんなも生き物博士に挑戦しよう!

イラスト 「イラストのことが知りたい!」漫画家・イラストレーター 梶本(かじもと) ちひろ イラスト: 梶本ちひろ

クイズ 「みんなのクイズし、チャレンジ!」チャットやリアクションボタンを使って、交流しよう。

【ゆうたろうプロフィール】
1998年6月3日生まれ。広島県出身。古着に興味があり、古着ショップ店員から「可愛すぎる美少年」モデルとして、芸能活動開始。
2017年から俳優としての活動をはじめ、近年の出演作は、NHKによるドラマ「古見さんは、コミュ症です!」(古きツァンバアの 観のみなど)。

13:30~13:35 オープニング
13:35~14:20 プログラムの【イラスト】又は【クイズ】
14:20~14:25 休憩
14:25~15:10 プログラムの【生き物】又は【クイズ】
15:10~15:15 休憩
15:15~15:35 ゆうたろうさんにインタビュー
15:35~15:45 「つながり」好きなこと」をテーマとした話
オンラインクラブ活動の作品紹介
エンディング

オンライン
でつながろう
フェスII

参加者数 47名

ゆうたろうさんへのインタビュー

SSRに通っている生徒が、オンラインでインタビューしました。

ゆうたろうさんから、興味のあること、好きなことを仕事にすることの楽しさや大変さ、大切にしていること、人とのつながりなどについて語っていただきました。また、多くの人とかわって、いろんなコミュニティーをもっておくこと、自分の好きなものを見つけて、その分野についていろんなことを知っておくことが大切だといったメッセージをいただきました。

生き物

生き物博士に挑戦しよう!

和田博士(爬虫類を担当) 佐々木博士(両生類を担当)

イラスト

梶本ちひろ先生に、イラストの描き方を学びました。

クイズ

クイズをはじめるよう~!!!

コラボ企画
⑤

2月

コラボ企画
⑥

SSR 学びプログラム コラボ企画! 第5弾! With 熊本市教育委員会

「広島×熊本 オンライン修学旅行」

熊本市の仲間と一緒に オンラインで 旅行してみませんか?
宮島, 熊本城へ レッツゴー!

【広島(宮島編)】2月9日(水) 10:30~11:30 【熊本(熊本城編)】2月16日(水) 10:30~11:30
※zoomミーティングによるオンラインで開催します。※熊本市のオンライン活動をしている児童生徒も参加します

SSR 学びプログラム コラボ企画! 第6弾! With 東京国立近代美術館 MOMAT

アートの謎に迫れ? みんなでみればみえてくる

オンラインで、東京の美術館の作品に触れてみませんか?
※詳しくは、チラシを見てね

【第1回】2月17日(木) 13:30~14:30 【第2回】2月18日(金) 13:30~14:30
※zoomミーティングによるオンラインで開催します。
※1と2は見る作品が違います。両日でも、どちらかだけでも参加可能です。

2月22日(火) 企画部 13:30~14:00

新しいクラブを どんどん 企画中!! 意見を出し合い、進めてみよう!

2月24日(木) ブック・ラブ 13:30~14:00 企画部から生まれたクラブです!!

第1回 SSR ビブリオバトル開催!! 講師

ビブリオバトルは、本の紹介コミュニケーションゲームです。
自分の好きな本を2~5分間紹介します。
方法は、画面で見せても、言葉で説明しても、
チャットで説明してもOK! 方法は、なんでもアリ! 好きな本を持って参加しよう!

オンライン学びプログラム・オンラインクラブ活動に参加した児童生徒の様子等

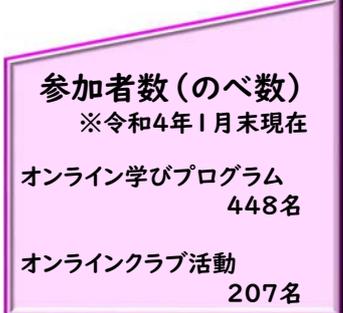
オンライン学びプログラムを楽しみにしていて、これまで登校が遅かったが、プログラムの開始時刻にあわせて登校するようになった。また、活動に関することを事前に調べて参加する姿も見られている。

オンラインクラブ活動の中で、講師を務めたことで自信がつき、はっきりと自分を表現するようになったり、学習にも積極的に取り組むようになったりするなどの成長が見られた。

勾玉づくりでは、プログラムの時間が終わっても、集中して取り組む姿が見られた。

自分たちが作った勾玉の歴史民俗資料館への展示を喜び、多くの児童生徒が、実際に展示場所を訪れた。

ストリームに投稿されるコメントを読んで、どんな言葉で伝えたらよいかを考える姿が見られてきた。また、自分のことを知ってもらいたいという気持ちが芽生えている。



不登校SSR推進校への支援

(1) SSRの運営サポート

③ 学習支援(個別・集団)



ポイント3

振り返りと教職員からの声掛け

相談する力
自分の強みを知り、
生かす力・苦手な場面でSOSを出せる力
↑
短期目標・長期目標を念頭に...

下校時刻	●時●分	●時●分	●時●分
1日の感想			
学校から			



児童生徒の振り返りに学校からコメントを返すことで、達成感を持ち、成長を実感することにつながっています。



不登校SSR推進校への支援

(1) SSRの運営サポート

③ 学習支援(個別・集団)

～キャリア教育の視点から～



先輩に学ぶ会の開催

◆高校に進学した, SSRに通っていた先輩の話を聞く会を開催

- ・自分の目標をより明確にしていく。
- ・受験や高校生活への不安を解消する。

高校に向けての勉強の仕方, 高校の進路についてわかりやすく聞けたので, 今後, どうやって立ち向かっていけばよいのか分かりました。



久しぶりに話せてうれしかったです。私たちも高校生活をエンジョイするため, 頑張りたいと思います。

📌 ポイント

生徒一人一人の状況を踏まえて, 会の中で話を聞くことだけではなく, 会の開催に向けた準備や事後の取組までのストーリーを描く。



不登校SSR推進校への支援

(2) 組織的な学校体制の構築

① 不登校等児童生徒支援会議の開催による支援方針等の共有



📌 ポイント 現状分析と今後の取組方針の共有

【不登校等児童生徒支援会議】

時間割に組み込むなどにより, 週1回程度定期的で開催し, 不登校等児童生徒の状況の共有や指導方針について協議・確認を行う。

構成メンバー(例)

校長, 教頭, 学年主任, 生徒指導主事, 特別支援教育コーディネーター, SSR担当 教員(教育相談コーディネーター), 養護教諭, スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー等

② 校内研修の実施

📌 ポイント 学校が主体となる校内研修の実施

【例】

- ◆ SSR(スペシャルサポートルーム)とは?
- ◆ 不登校等児童生徒への取組や成果, 課題等の状況の共有
- ◆ 特別支援教育の視点に立った児童生徒の見方や受け止め方, 関わり方等



不登校SSR推進校への支援

(2) 組織的な学校体制の構築



③ 他の教職員、児童生徒、保護者への周知

📌 ポイント 他の教職員への周知

- ◆SSRを設置した取組の理解
- ◆SSRにおける支援の考え方や支援方法等の理解

➡ 通常の教室における学級経営や授業の改善 ➡ 不登校の未然防止

義務教育指導課 指導主事 ※個別最適な学びに関する実証研究担当 による研修の実施

単元内自由進度学習・イェナプランを参考にした自立・協働学習・単元別プロジェクト学習・興味関心に応じたMY 探究

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/17/kobetu-teian.html>

📌 ポイント 全校児童生徒・保護者への説明

県教委等からも様々な媒体 (HP 広報紙 インスタグラム YouTubeなど)を通じて発信

- ◆学校だよりの配付や学校WEBページへの掲載による周知
- ◆SSRの入口に活動の様子を掲示して紹介

➡ 誰もが利用しやすいSSRにしていく視点からの発信

↓ (連動)
多様性の理解



「くりっぴ」第76号でも

オンラインプログラムを
紹介しています!!



学校が変わる。教育が変わる。
「くりっぴ」とは、「学校 家庭 地域をつなぐ」をテーマに、広島県教育委員会や学校での取り組みを保護者の皆さんにお知らせするための広報紙です。ホームページもご覧ください。

Vol. 76 広島県教委 検索
令和3年11月1日発行 広島県教育委員会



県立広島高等学校で学校編 → 「高校で学びたい」を基調にしたサポート → 6
広島県が提供する乳幼児の部 → 3-4 ひろしまがわりプログラム 2021 → 6
公立広島高等学校の入学準備講座を企画 → 4 オンラインで楽しむ学校生活 → 7
特別支援学校の部 → 6

オンラインで 新しい学びが 進行中!



様々な困難を抱えた子供たちを対象に、社会や人とつながるためのスキルを磨くことを目的とした活動「オンライン学びプログラム」。県が指定した不登校SSR（スペシャルサポートルーム）推進校等をオンラインでつなぎ、興味・関心を同じくする小集団で、楽しみながら学ぶ場を提供しています。

広島県 不登校支援センター 検索



- プログラム
- ① 誰でも楽しみながら学べる「いつでもチャレンジ」
 - ② 不登校SSR推進校等の児童生徒を対象にした「オンラインクラブ活動」と「オンライン学びプログラム」

※参加対象を県内の不登校SSR推進校以外の学校や教育支援センター（校外施設指導教室）、フリースクール等に誘う子供たちに少しずつ広がっています。

いつでもチャレンジ ～キミたちの挑戦をまっている～



スポーツや音楽など、様々な分野のゲストティーチャーから、子供たちがチャレンジできる課題を動画で配信します。

第1弾は「サンフレッチェ広島からの挑戦状」。森崎浩司アンバサダーをはじめ、荒木年人選手、鮎川峻選手など5人の選手が、「できるかな?」という様々なテクニックを披露してくれます。一人でも、また友達や家族と一緒にチャレンジできる内容で、簡単なものから上級者レベルのものまで、難易度も様々です。

今後はサッカーだけでなく、様々な分野のゲストティーチャーからの挑戦状を皆さんへお届けします。ぜひ、チャレンジしてください。

学びプログラム ～イノリノカタチ～



子供たちが作った「イノリノカタチ」

子供たちが楽しみながら学び、社会と人とつながるためのスキルを磨くことを目的とし、不登校SSR推進校等の子供たちをオンラインでつないで、体験的・探究的なプログラムを実施しています。

9月には、県立歴史民俗資料館とコラボした学びプログラム「イノリノカタチ」を実施しました。計3回のプログラムで、事前に配付された滑石(かっせき)を紙やすりで削りながら、「(昔の人は) どんどこきに折っていたのか」「昔はどうやって石を削っていたのか」「勾玉はどういう石だったのか」など、田邊館長の解説を聞きながら、自分なりのイメージで思い思いの「イノリノカタチ」を仕上げました。



令和3年度 個別最適な学びの実現に向けた教職員等研修会（第2回）

幸せに生きるための 力を育むために

乳幼児期から学齢期にかけての
具体的な支援の方法について

講演 日戸由刈 先生

相模女子大学人間社会学部 教授

方法：オンライン 対象：教職員等（午後の部）
（ZOOMで行います。IDは当日までに、申し込みを頂いたアドレスにおくります。）

申込：下記アドレスまたはQRコードから申し込んでください。令和3年11月17日（水）まで
https://s-kantan.jp/pref-hiroshima-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=8239

11/22

(月) 13:30~16:30

◇お問合せ◇ 広島県教育委員会 個別最適な学び担当（担当 土屋）
☎082-513-5028 ✉kyokobetsu@pref.hiroshima.lg.jp




<対象者>

- 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員
- 幼稚園、保育所、認定こども園等、ネウボラ、児童発達支援センター等の職員
- 保護者
- 県教育委員会、県健康福祉局関係課、関係地方機関等の職員
- 各市町教育委員会、各市町障害者支援担当部局等の職員
- 県内スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー

第1回	7月31日（土）	東京福祉大学 河合 純先生	168名
第2回	11月22日（月）	相模女子大学 日戸由刈先生	180名
第3回	1月29日（土）	兵庫教育大学 小川修史先生	183名

日程	内容
13:30 ~13:35	開会行事
13:35 ~13:55	説明 不登校支援センター 指導主事
13:55 ~15:10	講演 相模女子大学人間社会学部人間心理学科 教授 日戸 由刈
15:15 ~15:35	当事者からのメッセージ（インタビュー映像の視聴） 自分に合った学びの場（特別支援学級・SSR・フリースクール）で学び、 社会人になった今、思うこと
15:35 ~16:00	グループ別意見交流 ・説明・講話・当事者からのメッセージを聞いて
16:00 ~16:25	全体交流・質疑応答
16:25 ~16:30	閉会行事

県教育委員会HP <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku17/kobetankenshu030731.html>

自閉症スペクトラムについて、再認識したり新しいことを学べたりできました。（中略）今、担当している児童を思い浮かべながら講義を聞いていると、当てはまることばかりでとても納得しながら受講しました。その中でも、一番感銘を受けた言葉があります。「私たちから彼らの世界に入る努力をすること。なぜなら彼らは私たちの世界に入ってくるのができないから。」この言葉を忘れず、これからも彼らに歩み寄っていきたいと思います。



教職員



保護者

自分が今までしてきたことが良かったと安心したり、これからどうしていったら良いかという先の対応も学ぶことができ、力をいただきました。子供が中学生になり、進路を決める現実に向き合うようになり、たくさんの未知の世界があります。当事者の方のお話は 当時どんな気持ちを抱えていたのかわることができ、現在立派に活躍されている姿からは勇気づけられました。

